

議 事 録

会議名	平成 28 年度 第 2 回かほく市国民健康保険運営協議会		
日 時	平成 29 年 2 月 13 日 (月) 19 : 00 ~ 20 : 00	場 所	かほく市役所 本庁舎 304 会議室
資 料	平成 28 年度第 2 回かほく市国民健康保険運営協議会資料		
出席者	会 長 山本 茂正 委 員 赤井 孝 委 員 角田 真 委 員 新藤 正人 委 員 高田 充彦 委 員 中井美智子 委 員 牧野 守 委 員 南 春夫	市民部長 森田 善明 [保険医療課] 課 長 能任有為子 課長補佐 南 津由 係 長 能村 忠由 主 査 瀬戸由紀子 主 事 中村 梓	欠席者 委 員 油野そとえ

議 事 の 経 過

《 1. 開会 》

事務局 本日は油野委員から欠席の連絡があったが、過半数の人数に達しているため、本会議は成立することを報告します。

《 2. 開会あいさつ 》

事務局 皆様お疲れのところお集まりいただき、ありがとうございます。

国保の運営というのは高齢者の比率が大きく、また高齢者になると、おのずと低所得者層となってくるため、非常に厳しい状況となっています。そんな状況のなか、社会保障制度の改革に取り組んでいかなければなりません。医療費の増大というのは、医療の高度化によって大変な状況に陥っており、いかにして医療費を引き下げることかということが課題です。言いにくい話ですが、所得のある方については、少し負担を求めているというのが基本的なスタンスです。負担が増大する傾向にあります。今の制度を維持していくためには仕方ないのかな、とも思います。

医療費をどのように抑制するかというと、そもそも健康でいること、つまり、医者にかからないように、ということです。健康福祉課では、健康事業として健康維持づくりに取り組んでいます。かほく市の健康プラン 21 では、『私の健康 みんなで支える 心と体』というタイトルで取り組んでいます。自分の健康は自分で管理して下さい、と言ってもなかなか難しいので、みんなで支えていきましょうということを謳って、みんなで健康づくりをやっている取り組みをしています。そのなかで、いかにして医療費を引き下げることかということがポイントかなと思っています。保険医療課と健康福祉課がしっかりとタッグを組んで連携しながら、医療費の抑制・健康づくりに取り組んでいるところです。

これから来年度予算の内容の説明に入りますが、医療費の抑制・維持には、ということで、平成 30 年度から石川県も保険者になり、市・町と一体になって国保の運営をやっていくところで、システム改修等いろいろ検討している状況です。そうしたなかで、平成 30 年 4 月 1 日に県一本化と大きく制度が改正されるにあたって、来年度はそれに見合った保険料の賦課方式の見直し・検討に入っていかなければいけません。委員の皆様には、保険の賦課方式という非常に重たい分野の検討を会議のなかでやっていきたいということで、またいろいろとご足労願うことがあると思いますが、よろしく願います。本日の協議会では、来年度の予算、今年度の保健事業、そして制度改正の説明をさせていただきます。忌憚のないご意見を頂戴しながら、よりよい改善に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願います。

《 3. 会長挨拶 》

委員 非常に寒く足元の悪いなか、出席していただきありがとうございます。非常に大事な会議ですが、スムーズに進行できますよう皆様ご協力をお願いします。

議 事 の 経 過

《 4. 議事録署名委員の選出 》

委員 前は高田委員と南委員にお願いしました。今回は、赤井委員と角田委員にお願いしたいのですが、よろしいですか。

【全員拍手で承認】

《 5. 議題 》

1. 平成29年度かほく市国民健康保険特別会計予算（案）について

事務局 （資料P 1～4 説明）

委員 予算が1億2,000万円ほど減って対象者が減少するということですが、約何名ぐらいの減少と予想していますか。

事務局 7,500人が今年度の予算で、来年度は7,200人で予算を立てています。

委員 かなり確実な減少が見込めるということですか。

事務局 年々それぐらいずつ減ってきています。若い人が社会保険に移行しているということです。高齢者は増えてきていますが、若い人達は社会保険に加入される仕事に就いているということです。

委員 他になれば、予算案について皆様ご了承ということでもよろしいですか。

【拍手】

事務局 ありがとうございます。この予算案は今日27日から開催されます、かほく市の議会定例会に上程します。

2. 平成28年度かほく市国民健康保険の保健事業について

事務局 （資料P 5～6 説明）

委員 電話勧奨に関しては、かなり有効だと思います。「電話がかかってきたので今日は健診に来ました」という方が何名かいたので、ぜひ続けてほしいです。ちなみに、A市は人数があまりにも多すぎて、手が回らないということで受診率が悪いということを知りました。かほく市はぜひ頑張ってください。

事務局 ありがとうございます。昨年度の52.5%は、県内で1番良い受診率でした。今年度の52.3%も、もう少し上がると思います。糖尿病の薬を飲んでいる人や、途中で社会保険に切り替わった人は対象者から外れるので、最終的に対象者数の5,758人が減ると受診率が上がるので、いい結果が出ると思います。またご協力をお願いします。

委員 脳ドックと人間ドックの宣伝ももっとしたらいいと思います。

委員 健診を公民館で受ける割合と医療機関で受ける割合の比率はどれくらいですか。

事務局 今年度の数字はまだ把握していませんが、昨年度は2,787人のうちの1,200人が、医療機関で受診しています。残りは集団健診で、公民館やほのぼの健康館で行っているものを受けています。

委員 公民館で受ける場合、時間帯が短く「そんな時間に行けない」と言う人が多いという話を聞いたことがある。そうすると、いつでも行ける医療機関で受診することになるのでしょうか。

議 事 の 経 過

事務局 公民館では、特定健診だけではなく、がん検診も一緒にしていますが、そうすると食事の制限等もあり、できるだけ午前中に終わるようにしています。がん検診を伴わない会場は、昼からも受付することもあります。がん検診が関係してくると、どうしても時間の制約があると思います。

かほく市は、がん検診も特定健診と一緒に受けられるので、がん検診の受診率も上がっています。がん検診をたくさん受けていただくと、国民健康保険の国からもらえる補助金も増えるので、がん検診の普及も保健師と協力して行い、もっと受診率を上げていきたいと思っています。

委員 毎年の医療費の減少についてですが、理由は人口や受診者が減ったということだけでしょうか。ジェネリック医薬品への切替で減ってはいますが、それは体制に影響を与えるような額ではないと思います。医療費そのものが減るようなことがあったのかどうか。人口変動だけでしょうか。

事務局 P9に書いてありますが、平成27年度の1人当たりの医療費が406,332円かかっていますが、平成26年度だと1人当たり374,416円でした。年によって1人当たりの医療費は全然違ってきます。平成27年度の要因としては、心臓関係の手術を受けた方が多かったです。1人500～600万円かかるので。調剤ではC型肝炎のオプジーボで、4～5人C型肝炎の方がいるので上がりました。糖尿病の方で、1人で1,500万円かかった方もいたので、全体的に高額の方が多かったです。

委員 わかりました。

3. 平成29年度国民健康保険制度の改正について

事務局 (資料P7～9説明)

事務局 補足です。国民健康保険税ですが、3～4年連続でずっと賦課限度額が4万円ずつ上がってきていました。今年は引き上げがなかったのが、89万円が最高額です。そのかわり、低所得者の人を助けようということで、軽減判定の変更がありました。賦課限度額の変更はありません。

委員 かほく市とは関係ないですが、1人当たりの療養費についてB町が高いのは何かあるのでしょうか。

事務局 5～6年連続で金額が高いですが、理由は聞いていません。かほく市もそうですが高松病院が近いので、その医療費がかかっているのかな、と推測していますが確認したことはありません。

委員 なんせ高いですね。

事務局 はい。もう何年も連続です。

委員 開業医の数が少ないのは関係ないですかね。

事務局 それもあると思います。B町から医科大のバスが出ているので、医科大の通院が多いと医療費が上がっているところが見られたりするので。

委員 高額医療費制度について、医療費がかかった人は漏れなく申請を出しているものですか。知らない人はいないのですか。

事務局 本当は申請主義ですが、かほく市は高額医療が発生した人に案内を出しています。先月も約600人に案内を送っています。自分の自己負担額がどのランクに当てはまるかを把握しておいていただければ。

議 事 の 経 過

委員 この計算は本当に難しい。これだけあったら市役所に相談したら安くなるよってというのは、何回か言っています。「いくら安くなるかはわからないが、市役所に言ったらいくらか戻ってくるかもよ」といった非常にアバウトな助言だけはしています。

委員 がん検診の受診率は、この会議には出てこないのですか。

事務局 がん検診は健康福祉課の管轄で、一般市民全体を対象としています。どうしてもこれは国保だけになるので。

委員 わかりました。

事務局 (別紙医療費状況の説明)

委員 各市町でこういうデータを出しているのですか。

事務局 はい。毎年5月に表が出ます。

委員 かほく市の特徴はありますか。

事務局 循環器系と精神が多い傾向があります。

委員 高松病院に通院するために、かほく市に転入する方もかなりいらっしゃいますか。

事務局 はい。

委員 先程、角田委員が署名委員になられましたが、都合により代わりに牧野委員にお願いできますか。

委員 わかりました。

委員 では、牧野委員と赤井委員に議事録の署名をお願いします。

委員 平成30年4月から県一本化になったら、この協議会はどうなりますか。

事務局 平成30年度もこのままある予定です。先程の部長の挨拶にもありましたが、来年度は保険税率の改正をしていかないといけません。今年度は2回でしたが、来年度は3回集まることになるかと思いますので、またよろしくをお願いします。

それでは他に質問がなければ、最後に南委員ご挨拶をお願いします。

委員 本日は夜遅くまでご苦勞様でした。前もって資料を渡されており、しっかり読んできたつもりでしたが、口頭で説明されるとまた難しい点も出てきますし、帰って復習してしっかり勉強したいと思えます。今日は皆様ご苦勞様でした。